

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
中瀬哲史	現代史を学ぶ / 溪内謙著. -- 岩波書店, 1995.6. -- (岩波新書; 新赤版 394).	4F新書版	201//TA88//0309	歴史とは何か、特に現代史を学ぶ意義とは、どのように現代史に取り組みばいいのか、を、今は亡き溪内氏が自らの専門研究に引きつけて述べたもの。歴史の見方だけではなく、「現在進行形」のものにも応用できる。歴史に興味を持っている人も、持っていない人も一読の価値あり。
本多哲夫	公共政策のすすめ：現代的公共性とは何か / 宮本憲一著. -- 有斐閣, 1998.6.	4F開架新体系	301//MI77//4775	政府や政策とは何かを考える際に参考になる本です。
鈴木洋太郎	マネジメントの経済学：グローバル・ビジネスと経済社会 / 鈴木洋太郎著. -- ミネルヴァ書房, 2003.11. -- (Minerva text library; 32).	4F開架新体系	331//SU96//5747	本書はビジネス経済学の基礎知識についてグローバル化(グローバル化+ローカル化)の観点から説明した入門書です。筆者の専門である経済地理学・立地論の基礎知識についても平易に説明しています。
藤井輝明	不平等の経済分析 / 高山憲之著. -- 東洋経済新報社, 1980.4.	4F開架N	N331.6//T2//1A	当該分野を経済学と統計学、理論と実証の両面から論じた日本の古典。参照されている雑誌文献や『統計学辞典』の分配の項目とあわせて読むと意義がよくわかる。
片岡尹	アジア経済を学ぶ人のために / 本多健吉, 坂田幹男編. -- 世界思想社, 1996.11.	4F開架新体系	332.2//H84//3652	
片岡尹	東アジアの奇跡：経済成長と政府の役割 / 世界銀行著; 白鳥正喜監訳; 海外経済協力基金開発問題研究会訳. -- 東洋経済新報社, 1994.6.	4F開架新体系	332.2//W88//7172	
片岡尹	アジア経済の真実：奇蹟、危機、制度の進化 / 吉富勝著. -- 東洋経済新報社, 2003.9.	4F開架新体系	332.2//Y92//2663	
片岡尹	開発のレギュレーション：負の奇跡・クリオージョ資本主義 / 佐野誠著. -- 新潟大学経済学部, 1998.3. -- (新潟大学経済学研究叢書; 第1冊).	7F新体系	332.65//SA66//5037	
鈴木洋太郎	立地論入門 / 松原宏編著. -- 古今書院, 2002.4.	4F開架新体系	332.9//MA73//1481	企業の事業活動がどこで行われるのか等を検討する「立地論」は地理学・経済学・経営学を複合した研究分野ですが、本書は立地論についての入門書として最適です。
片岡尹	開発経済学：諸国民の貧困と富 / 速水佑次郎著. -- 新版. -- 創文社, 2000.8. -- (現代経済学選書 / 熊谷尚夫監修; 11).	4F開架新体系	333.8//H47//5281	
下崎千代子	CSR：企業と社会を考える / 谷本寛治著. -- NTT出版, 2006.6. -- (NTT出版ライブラリーレゾナント; 025).	4F開架新体系	335.15//TA88//2164	企業のCSR(社会的責任)とは何かを理論的実践的にわかりやすく解説している。
向山敦夫	企業の社会的責任「CSR」の徹底研究：利益の追求と美徳のバランス--その事例による検証 / デービッド・ボーゲル著; 小松由紀子, 村上美智子, 田村勝省訳 -- 一灯舎.	4F開架新体系	335.15//V86//9576	最近、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)についての議論が再燃している。これは1970年代にも良く議論されたテーマであり、両時代でそのスタンスがどのように違っているのかを知っておくのは悪くない。この著書は、その序章にもあるように、CSRに対する極端な2通りの読者(企業の社会的役割と価値観が大きく変化する前触れだと過度にCSRを評価する人と、CSRは無力で政府の更なる規制がなければ企業は責任ある行動をとらないと考える人)の両者に向けたものである。単なる解説書やコンサル本が多いこの分野で、なるほどと思わせてくれる著書である。
中瀬哲史	失敗と再生の経営史 / 宇田川勝, 佐々木聡, 四宮正親編. -- 有斐閣, 2005.6.	4F開架新体系	335.21//U26//8477	これまではあまり語られることのなかった経営面で失敗した企業を取り上げ、どのように再生していくのか、を明らかにした共同研究の成果。その際、その失敗の要因をも取り上げているので興味深いと思う。宝酒造、日産自動車、日本マクドナルド等を取り上げている。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
鈴木洋太郎	多国籍企業の立地論 / 鈴木洋太郎, 桜井靖久, 佐藤彰彦著. -- 原書房, 2005.11.	4F開架新体系	335.29//SU96//3967	国際ビジネス研究と経済地理学・立地論を複合させた「多国籍企業の立地論」はまだ発展途上の研究分野ですが、本書はこの分野の基本図書の1つです。
本多哲夫	中小企業・ベンチャー企業論 / 植田浩史 [ほか] 著. -- 有斐閣, 2006.3. -- (有斐閣コンパクト).	4F開架新体系	335.35//U32//9289	中小企業論を学ぶうえでの入門書です。
西村弘	ビジネス・エッセンシャルズ / 大阪市立大学商学部編. -- 有斐閣, 2001.9-. シリーズ1～7	4F開架新体系	335//O73//4171他	
ト 志強	レバンス・ロスト: 管理会計の盛衰 / H.T.ジョンソン, R.S.キャプラン著; 鳥居宏史訳. -- 白桃書房, 1992.3.	4F開架N	N335.96//J1//2	管理会計の生成と発展を理解するための必読文献
下崎千代子	テレワーク: 「未来型労働」の現実 / 佐藤彰男著. -- 岩波書店, 2008.5. -- (岩波新書; 新赤版 1133).	4F新書版	336.4//SA85//5500	テレワークは夢の働き方が電腦内職となるのか、その現実を明らかにしている。
ト 志強	コスト戦略と業績管理の統合システム / ロバート・S・キャプラン, ロビン・クーパー著; 桜井通晴訳. -- ダイヤモンド社, 1998.10.	4F開架新体系	336.8//KA61//9139	戦略的ABMを理解するための基本文献
ト 志強	日本の管理会計の展開: 「原価企画」への歴史的視座 / 岡野浩著. -- 第2版. -- 中央経済社, 2002.5.	4F開架新体系	336.84//O45//3769	歴史的・組織的視点から原価企画の特質を理解するための基本文献
ト 志強	原価企画研究の課題 / 日本会計研究学会著. -- 森山書店, 1996.9.	4F開架新体系	336.85//N71//4142	原価企画研究の基本文献
ト 志強	原価企画の理論と実践 / 田中雅康著. -- 中央経済社, 1995.7.	4F開架新体系	336.85//TA84//4575	原価企画の標準的プロセスを理解するための必読文献
向山敦夫	社会環境会計論: 社会と地球環境への会計アプローチ / 向山敦夫著. -- 白桃書房, 2003.10.	4F開架新体系	336.9//MU27//5473	私自身が書いた本なので推薦文は書きにくいですが、企業の利益追求組織ではない側面(社会性)について、歴史的な展開を含めてまとめた著書である。わが国では伝統的に「社会関連会計」と呼ばれ、「環境会計」と呼ばれる領域が中心であったが、近年では、経済・社会・環境という3つの柱からなるトリプル・ボトムラインが主張されている。著者として言わせてもらえば、最も力を注いだのは「はしがき」であった。
向山敦夫	情報公開制度としての現代会計 / 山地秀俊著. -- 同文館出版, 1994.8.	4F開架新体系	336.9//Y261//7793	アメリカで証券市場を前提とした会計基準が設定され始めたのが大恐慌(1929～33年)以降のことで、現在のように会計制度が証券市場における意思決定有用性を前提に議論され、構築されるようになったのは、せいぜいこの40年のことである。会計情報を公開するという営みは、実はもっと以前からおこなわれてきたことで、著者は「宥和化」という概念を用いながら、会計情報を提供する立場の人(企業・経営者)と受け取る側の人(利害関係者)との相互関係を論じている。初学者にはちょっと理解が難しい内容ではあるけれども、財務会計に対するこういった見方もあるのかと思わせてくれる好著である。
青山和司	現代金融論 / 川波洋一, 上川孝夫編. -- 有斐閣, 2004.12. -- (有斐閣ブックス; [437]).	4F開架新体系	338.01//KA96//3883	経済のグローバル化とともに、金融をめぐる状況は大きく変化し、複雑化と多様化が進展している。本書は理論、歴史、制度、現状分析の視点から、こうした変化する現代金融の構造やその問題点を明らかにしている。金融について、より深く学ぼうとする人に最適な書物である。
青山和司	現代金融と信用理論 / 信用理論研究会編. -- 大月書店, 2006.1.	4F開架新体系	338.04//SH69//6075	本書は、資本主義社会における貨幣・信用理論の研究に取り組んできた多くの研究者が執筆に参加し、共同して作り上げた研究書である。本書では、金融のグローバル化、規制緩和、金融技術革新等の現代金融の変化の解明と、現代資本主義に対する批判的な論点が提示されている。研究書であるため、やや難解ではあるが、金融論や貨幣・信用論をより専門的に深く学ぼうとする人は是非とも読んでほしい。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
青山和司	日本の金融制度 / 鹿野嘉昭著. -- 第2版. -- 東洋経済新報社, 2006.8.	4F開架新体系	338.21//SH33//3910	以前、日本銀行金融研究所から『わが国の金融制度』という書物が公刊されており、この本を読めば日本の金融制度について一通りの知識を学ぶことができた。しかしその後、銀行の再編や金融制度の改革が進んだため、同書の記述は古くなってしまった。そこで、『わが国の金融制度』の執筆に関わった筆者は、近年の金融制度の変化を織り込み、同書に代わる書籍として本書の『日本の金融制度』を公刊した。本書が公刊されてからも公的金融機関の再編が行われるなど、金融制度は日々に変化しているとはいえ、本書は現在の日本の金融制度を全体的に理解する上で有益な書物である。
片岡尹	サブプライム金融危機：21世紀型経済ショックの深層 / みずほ総合研究所編. -- 日本経済新聞出版社, 2007.12.	4F開架新体系	338.253//M194//0389	
青山和司	アメリカの金融制度：比較社会文化による問題接近をめざして / 高木仁著. -- 改訂版. -- 東洋経済新報社, 2006.6.	4F開架新体系	338.253//TA29//2056	行政権限が連邦政府と州政府に二元的に存在するアメリカでは、金融制度も二元的な行政の影響を大きく受けて発展してきた。それは連邦準備銀行というアメリカ特有な中央銀行制度や、国法銀行と州法銀行という二元的な銀行制度を生み出した。本書は、こうした銀行や様々な金融機関から構成されるアメリカの金融制度について、非常に丹念な調査に基づいて書かれた書物であり、これからアメリカの金融制度を勉強してみようと思う人は、まずこの本から読んでほしい。
清田 匡	バーゼルⅢと銀行監督：新しい自己資本比率規制 / 佐藤隆文編著. -- 東洋経済新報社, 2007.4.	4F開架新体系	338.3//SA85//2165	バーゼルⅢについての、最も詳細な説明。今後の銀行経営については、バーゼルⅢを抜きにしては論じられないので推薦しますが、ちょっと難解です。日本の銀行行政の変遷についても詳しい。著者は、現在の金融庁長官。
清田 匡	銀行員のための統合リスク管理入門 / 統合リスク管理研究会著 -- 金融財政事情研究会.	4F開架新体系	338.5//TO23//9771	すこし古くなりますが、上記の『バーゼルⅢと銀行監督』が難解に思える人は、本書を読めばバーゼルⅢの背景となっている考え方を理解できるでしょう。
清田 匡	現代の金融政策：理論と実際 / 白川方明著. -- 日本経済新聞出版社, 2008.3.	4F開架新体系	338.3//SH83//9213	初歩的な事柄から高度な内容まで説明している、金融政策についての現時点ではもっとも包括的で内容の豊富な書物として学部生から院生まで薦められます。著者は、現在の日本銀行総裁。
青山和司	新しい日本銀行：その機能と業務 / 日本銀行金融研究所編. -- 増補版. -- 有斐閣, 2004.10.	4F開架新体系	338.41//N71//2292	本書では、日本銀行が金融・通貨制度において果たしている役割や日本銀行の金融政策が理論と実務の両面から分かりやすく解説されている。中央銀行について学ぼうとする学生にお薦めの一冊である。
下崎千代子	カーライル：世界最大級プライベート・エクイティ投資会社の日本戦略 / 鈴木貴博著. -- ダイアモンド社, 2008	4F開架新体系	338.8//SU96//9772	投資ファンドの現実の姿を明らかにしている。日本企業がいかにグローバル化の中にあるか、その実態を明らかにするとともに投資ファンドとの関わり方を考えさせられる内容となっている。
片岡尹	金融グローバル化の危機：国際金融規制の経済学 / J.L.イトウェル, L.J.テイラー著；岩本武和, 伊豆久訳. -- 岩波書店, 2001.12.	4F開架新体系	338.9//E11//9863	
片岡尹	世界経済と開発金融 / 神沢正典著. -- ミネルヴァ書房, 1995.1. -- (阪南大学叢書；44).	4F開架新体系	338.9//KA59//9473	
片岡尹	グローバル化と国際通貨 / 紺井博則, 上川孝夫編. -- 日本経済評論社, 2003.12.	4F開架新体系	338.9//KO75//4338	
片岡尹	ユーロ・ビジネス入門 / 日本興業銀行国際金融調査部編. -- 東洋経済新報社, 1986.7.	4F開架N	N338.9//N1//2	

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
片岡尹	金融グローバル化の理論 / 信用理論研究学会編. -- 大月書店, 2006.2.	4F開架新体系	338.9//SH69//7401	
片岡尹	現代国際金融 / 田中素香, 岩田健治編. -- 有斐閣, 2008.2. -- (新・国際金融テキスト; 3).	4F開架新体系	338.9//TA84//1523	
片岡尹	ドル本位制の通貨危機: 国際資金ポンプとしての米国 / 片岡尹著. -- 勁草書房, 2001.4.	4F開架新体系	338.97//KA83//2397	
片岡尹	ユーロと国際通貨システム / 田中素香, 藤田誠一編著. -- 蒼天社出版, 2003.5.	4F開架新体系	338.97//TA84//9026	
片岡尹	国際通貨と国際資金循環 / 山本栄治著; 西村閑也編集. -- 日本経済評論社, 2002.4.	4F開架新体系	338.97//Y31//3255	
青山和司	金融 / 大阪市立大学商学部編. -- 有斐閣, 2002.3. -- (ビジネス・エッセンシャルズ / 大阪市立大学商学部編; 4).	4F開架新体系	338//O73//2016	商学部の金融サブコースの「金融概論」のテキストとして使用するために、商学部の金融関係の教員(退職者を含む)が協力して執筆した金融の入門書である。本書は商学部の金融関連科目である金融論、金融機関論、国際金融論、証券市場論、保険論等の内容を含んでおり、本書を通じて商学部における金融の学問領域について理解を深めることができる。
藤井輝明	統計学辞典 / 竹内啓編集委員代表. -- 東洋経済新報社, 1989.12.	4F開架N	N350.3//T2//2	どんな学問でもそうであるが、基礎的概念を正しく理解することが重要である。(国語辞典の意味がわからない段階でいきなり政策的論説を読むのは無謀というほかない。)特に統計学はその範囲の広さ、学習の階層性から、基礎から順に積み上げること、広い教養はともに必要である。本辞典は、字引ではなく、いわば学習辞典の形式をとっており、初歩を学ぶ学生から研究者の手引きとしても使える良書である。
藤井輝明	ワーキングプア: 日本を蝕(むしば)む病 = Working poor: the sickness undermining Japan / NHKスペシャル「ワーキングプア」取材班編. -- ポプラ社,	4F開架新体系	361.85//N71//7545	専門の本を読んだこともなく、全くの世間知らずでは、授業にも入れない。マスコミから書物へという意味で推薦する。
下崎千代子	ワークライフバランス社会へ: 個人が主役の働き方 / 大沢真知子著. -- 岩波書店, 2006.3.	4F開架新体系	366.04//O74//8882	格差を生じさせている雇用形態の多様化に対して、ワークライフバランスを実現する働き方の創出が重要ということを指摘。
藤井輝明	偽装請負: 格差社会の労働現場 / 朝日新聞特別報道チーム著. -- 朝日新聞社, 2007.5. -- (朝日新書; 043).	4F新書版	366.21//A82//3461	専門の本を読んだこともなく、全くの世間知らずでは、授業にも入れない。マスコミから書物へという意味で推薦する。
下崎千代子	少子化時代の多様で柔軟な働き方の創出: ワークライフバランス実現のテレワーク / 下崎千代子, 小島敏宏編著. -- 学文社, 2007.9.	4F開架新体系	366.3//SH55//7333	少子化時代において、テレワークのようにワークライフバランスが実現できる働き方がいかに必要かについて事例も示して論じている。
藤井輝明	日本の貧困研究 / 橘木俊詔, 浦川邦夫著. -- 東京大学出版会, 2006.9.	4F開架新体系	368.2//TA13//5246	最近、格差・貧困をめぐる論争が盛んだが、ともすれば価値判断、政策を直接対決させる風潮があり、実体をデータで検証しようとする厳密さに欠ける傾向があった。本書はその中では比較的注目すべき統計的実証を含んでいる。
畑 明郎	公害被害放置の社会学: イタイイタイ病・カドミウム問題の歴史と現在 / 飯島伸子, 渡辺伸一, 藤川賢著. -- 東信堂, 2007.12	3F開架新体系	493.152//I29//1090	イタイイタイ病・カドミウム問題の再検証を通じて日本社会の暗部を鋭く抉る労作。
畑 明郎	地域と環境政策: 環境再生と「持続可能な社会」をめざして / 磯野弥生, 除本理史編著. -- 勁草書房, 2006.11. -- (勁草テキスト・セレクション).	3F開架新体系	519.1//I85//7730	地域の視点を中心に、被害者救済や環境再生に取り組むための政策課題を学際的に考える。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
畑 明郎	環境経済学 / 宮本憲一著. -- 新版. -- 岩波書店, 2007.11.	3F開架新体系	519.1//MI77//9954	今なお終わらない公害を厳しく追及する著者の環境経済理論の集大成で、18年ぶりの全面改訂版。
畑 明郎	公害湮滅の構造と環境問題 / 畑明郎, 上園昌武編. -- 世界思想社, 2007.4. -- (Sekaishiso seminar).	3F開架新体系	519.21//H41//2025	現在も繰り返される公害湮滅の事例を分析し、公害・環境問題の真の解決策を提言する。
畑 明郎	西淀川公害を語る：公害と闘い環境再生をめざして / 西淀川公害患者と家族の会編. -- 本の泉社, 2008.3.	3F開架新体系	519.3//N87//2681	西淀川公害反対運動を創始し、政府に被害救済法を作らせ、環境再生を進める市民運動指導者の貴重な語りである。
畑 明郎	環境被害の責任と費用負担 / 除本理史著. -- 有斐閣, 2007.12.	3F開架新体系	519//Y74//6863	社会的費用論の立場から環境被害の事後的対策に関する経済学的研究である。
中瀬哲史	松下電器の経営改革 / 伊丹敬之 [ほか] 編著. -- 有斐閣, 2007.12. -- (一橋大学日本企業研究センター研究叢書 ; 2).	3F開架新体系	540.67//I88//0436	「V字回復」した松下電器を取り上げ、前社長中村邦夫氏のもとで、どのような経営改革が、どのような過程を経て断行されたのか、を明らかにしている。示唆に富むものであるが、松下電器の国際経営面については取り上げられていない点は残念。
中瀬哲史	三洋電機井植敏の告白 / 大西康之著 -- 日経BP社 -- (日経ビジネス).	3F開架新体系	540.67//O66//9768	かつては、ソニー、シャープともに、「3S」と言われ、その経営を称揚されるも、新潟地震等をきっかけに経営のずさんさが明らかとなった三洋電機。なぜ、同社が現状に陥ったのかを、同社において長く君臨してきた井植敏氏の「告白」を使って、著者が明らかにしようとした意欲作。
中瀬哲史	日本電気事業経営史：9電力体制の時代 / 中瀬哲史著. -- 日本経済評論社, 2005.2.	3F開架新体系	540.921//N42//6283	1930年代から2000年くらいまでの、日本の電気事業経営の歩みを取り上げたもの。特に、第2次世界大戦後の日本の電気事業の歩みについては、類書に見ないユニークな展開あり。ただ、「経営史」となっているものの、若干、「電気事業史」的な展開がある。
富澤修身	ファッション産業論：衣服ファッションの消費文化と産業システム / 富澤修身著. -- 創風社, 2003.10.	3F開架新体系	589.2//TO59//4913	身近な関心からどのように学問できるかを体験できる図書です。この分野では、わが国唯一の文献です。
田村 晃二	日本の流通100年 / 石原武政, 矢作敏行編. -- 有斐閣, 2004.12.	4F開架新体系	672.1//I74//3885	日本の流通を歴史的に分析したやや本格的な研究書。各論が散りばめられながらも、わが国流通の特異性を浮かび上がらせるべく共通の分析視角によって分析が進められるところが興味深い。
田村 晃二	流通原理 / 田村正紀著. -- 千倉書房, 2001.10.	4F開架新体系	675.4//TA84//3461	流通・マーケティングに関するやや本格的なテキスト。初学者には難解なところもあるが、頑張ってゴリゴリの論理展開を読み進めると知的好奇心が満たされること請け合いです。
田村 晃二	ゼミナールマーケティング入門 / 石井淳蔵 [ほか] 著. -- 日本経済新聞社, 2004.10.	4F開架新体系	675//I75//1561	入門者からすでに学習を進めている人まで幅広くお勧めできるテキスト。ボリュームはあるが、読めばマーケティング現象を論理的に整理して説明する力が養えるはずで。
西村弘	新時代の物流経済を考える / 柴田悦子 [ほか] 共著. -- 成山堂書店, 2008.4.	4F開架新体系	680//SH18//4798	市民生活の視点を持つ、きわめてユニークな物流論。物流を経済活動の分野だけで論じず、物流と環境、道路公害、海上コンテナ陸送の安全性など、市民生活にも関わる諸問題を最新データとともに分析している。
西村弘	交通論を学ぶ：交通権を保障する交通政策の実現を / 土居靖範 [ほか] 共著. -- 法律文化社, 2006.3.	4F開架新体系	680//SH18//7651	交通論の全体を初学者にむけてバランス良く、親しみやすく、かつ、興味深く学ばせようとする好著。初学者向けとはいえ、内容的にレベルを落とすものではなく、副題に「交通権を保障する交通政策の実現を」とあるように、先進的な主張を盛り込んでいる。
西村弘	現代の交通システム：市場と政策 / ティム・パウエル著. -- NTT出版, 2007.12. -- (道路経済研究所研究双書 ; 4).	4F開架新体系	681.1//P87//0481	現代の交通政策について、主にイギリスを例にしつつ、その歴史的展開ならびに市場別・モード別の内容を経済理論的に解明しようとした好著。交通政策の理念論と現実論が、一人の著者の手による首尾一貫した論述としてバランス良く示されている。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
西村弘	コンテナ物語：世界を変えたのは「箱」の発明だった / マルク・レピンソン著；村井章子訳。-- 日経BP社。2007	4F開架新体系	681.6//L57//6410	本書は、世界を変えたと言われる「箱」の物語であり、またそれをもとに一大海運会社を起こした人物の立志出世物語でもある。物流に興味を持つ人も、一つのアイデアを現実成功させた経営者の方により興味を持つという人も、ともに本書を面白く読めるだろう。
西村弘	日本物流業のグローバル競争 / 宮下國生著。-- 千倉書房, 2002.4.	4F開架新体系	681.6//MI83//3237	劇的な展開を見せるグローバル・ロジスティクスの世界における日本物流業の対応につき、その背景と対応を具体的に論じつつ、その理論的説明もSCMを軸に果たそうとする。長年海運業を研究してこられた著者の視野は広く、深い。国際物流を学ぶ上で欠かせぬ好著。
西村弘	都市交通ネットワークの経済分析 / 竹内健蔵著。-- 有斐閣, 2006.10.	4F開架新体系	681.8//TA67//4655	「渋滞対策を施したのに効果がない。かえって、ひどくなった!?!」といった渋滞のパラドックスの理論的根拠とその含意を明らかにし、それらが日本で現実に生じている可能性をも実証的に示し、その場合の政策的対処にまで論及する意欲的な研究書。
西村弘	脱クルマ社会の交通政策：移動の自由から交通の自由へ / 西村弘著。-- ミネルヴァ書房, 2007.4. -- (MINERVA現代経済学叢書；90).	4F開架新体系	681//N84//1518	自動車の能力・魅力(=移動の自由)ゆえにクルマ社会が成立し、他方でその弊害が論じられてきた。しかし、「脱クルマ社会」と言うならば、クルマ社会の改善ばかりではなく、それを凌駕する魅力(=交通の自由)こそ明らかにされねばならないとする問題提起の書。
西村弘	地域交通政策の新展開：バス輸送をめぐる公・共・民のパートナーシップ / 高橋愛典著。-- 白桃書房, 2006.3.	4F開架新体系	685.5//TA33//0339	道路運送法の改正以来、地域交通には大きな変化が生じてきているが、これを危機としてだけ捉えるのではなく、好機でもあるとして、内外の実状をきめ細かく調査した上で地域交通政策の可能性を探ろうとしている。
西村弘	米国航空政策の研究：規制政策と規制緩和の展開 / 塩見英治著。-- 文眞堂, 2006.4.	4F開架新体系	687.1//SH74//9623	米国航空産業の歴史的展開過程、その中で生じてきた規制政策課題と政策実践、一転して規制緩和以後の市場における競争状況と労使関係、はたまた国際的航空政策への影響等々、およそこれまでのあらゆる論点を膨大な資料を駆使して余すところなく解明した研究書。
ト 志強	レレバンス・ロスト：管理会計の盛衰 / H.T.ジョンソン, R.S.キャプラン著；鳥居宏史訳。-- 白桃書房, 1992.3.	4F開架N	N335.96//J1//2	管理会計の生成と発展を理解するための必読文献
片岡尹	ユーロ・ビジネス入門 / 日本興業銀行国際金融調査部編。-- 東洋経済新報社, 1986.7.	4F開架N	N338.9//N1//2	
藤井輝明	統計学辞典 / 竹内啓編集委員代表。-- 東洋経済新報社, 1989.12.	4F開架N	N350.3//T2//2	どんな学問でもそうであるが、基礎的概念を正しく理解することが重要である。(国語辞典の意味がわからない段階でいきなり政策的論説を読むのは無謀というほかない。)特に統計学はその範囲の広さ、学習の階層性から、基礎から順に積み上げること、広い教養はともに必要である。本辞典は、字引ではなく、いわば学習辞典の形式をとっており、初歩を学ぶ学生から研究者の手引きとしても使える良書である。
西村弘	中野宏幸『地域交通戦略のフロンティア』 運輸政策研究機構、2008年			全国的な交通社会資本整備の課題が後景に退き、今後は地域における交通政策こそ重要になるが、本書はその点で最先端を行くイギリスを調査し、地域交通戦略を支える仕組みとその実情について明らかにしている。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
脇村孝平	日本史 / フロイス著(松田毅一・川崎桃太訳)・中央公論社、1977-1980(全12巻)。	B3経済学部	210.49//F(C2)他	フロイスは、16世紀後半の日本で活動したイエズス会の宣教師である。本書は、織田信長や豊臣秀吉の活躍した、16世紀後半の日本を活写している。例えば、フロイスが描写した信長像は、その人物がまるで目の前にいるような臨場感がある。16世紀後半の日本社会に関する、異文化を背負った外国人が残した観察記録として貴重である。
脇村孝平	遠い崖：アーネスト・サトウ日記抄 / 萩原延壽著。-- 朝日新聞社、1998-。(全14巻)。	3F開架新体系	210.58//H14//8530他	アーネスト・サトウは、1862年にイギリス駐日公使館付通訳見習として来日した。その時、彼は十九歳の若者に過ぎなかった。その後サトウは、正規の通訳官(兼書記官)に昇進したが、1883年まで日本に滞在し、外交官として幕末から明治初期の激動の時代を経験する(後に、1895年から1900年まで駐日特命全権公使として再び滞日)。彼は、『一外交官の見た明治維新』(岩波文庫)をはじめ、いくつかの著作を書いているが、膨大な量の日記を残している点が特筆に値する。萩原延壽(はぎわらのぶとし-故人)氏のライフワークである『遠い崖』は、このサトウの残した日記を基本資料として、この激動の時代を描いた史書である。
大島真理夫	幕末・維新 / 井上勝生著。-- 岩波書店、2006.11。-- (岩波新書；新赤版1042。シリーズ日本近現代史；1)。	4F新書版	210.58//I57//7527	普通の歴史の理解では、幕末の外交問題での幕府の対応は不十分であり、それが国内の政治的対立を激化させ、倒幕・明治維新につながったという理解であろう。しかし、著者は、幕府の対応は、当時の国際的な国家間関係に関する知識を十分にふまえた冷静で適切な対応であり、むしろ、攘夷を主張した諸勢力、とくに朝廷の対外認識の時代錯誤性を強調する。また、経済史の今日的な研究水準をふまえて、開港をビジネスチャンスととらえた日本経済の活発な対応を紹介し、開港＝経済危機説を否定する。結局、幕末の政治過程は、外交問題を政治的混乱を引き起こす道具として使い、最後は武力で倒幕を成功させた薩長勢力の権力奪取過程であり、そこには何の正統性もなかったと断ずる。学校教育を通じて教え込まれてきた、明治新政府の「勝者が語る歴史の物語」をぶちこわしてくれるパワーをもった本である。同時に、「明治の時代」を礼賛する司馬遼太郎史観も崩れ去る。推薦者は、この著者の主張に賛成である。ぜひ、一読を勧めたいが、これを読むと、現在進行中のNHK大河ドラマ「天璋院篤姫」がつまらなくなるので、見ている人はご注意ください。また、岩波新書のこのシリーズを全部推薦しているわけではありません。
長尾謙吉	空間の経済地理 / 杉浦芳夫編。-- 朝倉書店、2004.6。-- (シリーズ人文地理学 / 杉浦芳夫 [ほか] 編集；6)。	7F	290.11//SE83//0743	経済地理学の視点から、画一化と差異化が相互に関連しながら展開しているグローバルな経済活動を読み解く視点を提示している。農業、製造業、流通業、人口移動、トゥーリズムなど章ごとに、現代的な課題と視点についてまとめられている。
脇村孝平	江戸参府旅行日記 / ケンペル著；斎藤信訳。-- 平凡社、1977.2。-- (東洋文庫；303)。	3F開架新体系	291.09//KA411//2158	ケンペルは、17世紀末にオランダ東インド会社の職員として日本に滞在したドイツ人。医者でもあり、博物学者でもあった。日本滞在中に、二回、江戸を訪問している。本書は、そのうちの一回の記録である。記述は、この当時のヨーロッパの博物学者の例にならって、道中に見聞した事物を克明に観察・記録したもので、非常に写実的な文体である。その意味で、今日の私たちに、実に貴重な史料となっている。
脇村孝平	東方見聞録 / マルコ・ポーロ著(愛宕松男訳)・平凡社、1970.3-1971-3(全2巻)。	3F開架新体系	292.09//MA511//2168	タイトルだけならば、誰もが知っていると思われるほど有名であるけれども、実際に本文を読んだ人は非常に少ないのではないかと。13世紀の元の時代の中国についての情報は貴重である。また、中央アジアを経由する交易路についても、一定の価値ある情報が得られる。しかしながら、荒唐無稽な作り話が多く含まれ、イブン・バトゥータの『大旅行記』と比べると、史料としての価値は少々劣る。ただし、当時のヨーロッパ人にとって、東アジアや東南アジアが如何に遠くて未知の世界であったかが窺えるという点では、興味深い史料と言える。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
脇村孝平	ムガル帝国誌 / ベルニエ著(関美奈子訳). 岩波書店, 2002.11-2001.12(全2巻).	4F文庫版	292.5//B38//7197	17世紀の後半、最盛期のムガル帝国に渡ったフランス人ベルニエは、当時の基準で言っても一流の教養人であった。そのベルニエが、ムガル宮廷に仕える中で立ち会ったのが、アウラングゼーブが皇位を継承するに至る歴史活劇であった。これは、四人の兄弟の中での生き残りゲームに他ならず、彼は自らの父親であるシャー・ジャハーンですら幽閉してしまう。「凄惨」という表現しか思いあたらないほど、リアルな臨場感に圧倒される。その他にも、宮廷都市デリーを活写する部分は、フランスの都市との比較論などを交えて、興味に満ちている。
脇村孝平	大旅行記 / イブン・バトゥータ著・イブン・ジュザイ編(家島彦一訳). 平凡社, 1996.6-2002.9(全8巻).	3F開架新体系	292.7//I11//3881他	イブン・バトゥータは、14世紀に活躍した大旅行家である。本書は、タンジール(現在のモロッコに位置する)に生まれ、約三十年の長きにわたって、ユーラシア大陸の大半とアフリカ大陸の一部を遍歴した彼の旅行記録である。今日の歴史学の観点からしても、当時の交易の有り様や各地の都市の様相を知るうえで、まことに貴重な史料であると言える。本訳書は、家島彦一氏によるアラビア語からの全訳である。テキスト・クリティークという点で、世界的に抜きん出た訳業と言える。本書を読める日本人は幸せである。
田畑理一	現代中央アジア論：変貌する政治・経済の深層 / 岩崎一郎, 宇山智彦, 小松久男編著. -- 日本評論社, 2004.8.	4F開架新体系	302.296//196//0074	旧ソ連の中央アジア地域研究の第一人者たちによる中央アジアの多面的な調査・研究書。
田畑理一	ロシア・東欧経済：市場経済移行の到達点 / 西村可明編 -- 日本国際問題研究所, 2004.10 -- (ロシア研究 = Russian studies / ロシア研究センター幹事会編集; 36).	4F開架新体系	302.38//N84//9781	ロシア・東欧経済の第一人者の編著になるロシア・東欧経済研究所であり、ロシア・東欧研究の必読書。
中島義裕	人工市場で学ぶマーケットメカニズム / 塩沢由典ほか著. -- U-Mart経済学編. -- 共立出版, 2006.6. -- (知的エージェントで見る社会; 3).	4F開架新体系	308//C49//1460	人間と投資プログラムが共に参加できる証券市場シミュレータU-Martシステムの解説書です。実際に自分たちが出した注文によって価格が決まりますので、より現実的な市場の動きが観察できます。
中村 健吾	人間の条件 / ハンナ・アレント著; 志水速雄訳. -- 筑摩書房, 1994.10. -- (ちくま学芸文庫).	4F文庫版	311//A68//3182	人間による activity を action, work, labor という3つのカテゴリーに区分し、近代世界における action の衰退と labor の優位という傾向を公的領域の没落および「世界疎外」として批判した、アレントの代表作。とくに経済学部の学生には、視野を広げるためにぜひ読んでほしい1冊。
中村 健吾	シティズンシップの政治学：国民・国家主義批判 / 岡野八代著. -- 白澤社. -- (フェミニズム的転回叢書).	4F開架新体系	316.1//O45//5042	T.H. マーシャルによるリベラルなシティズンシップ論以降の、共和主義、多文化主義、フェミニズムの立場からのシティズンシップ論を概観し、シティズンシップのもつ排除や閉鎖性を克服していく方途を探った好著。
田畑理一	コーカサス国際関係の十字路 / 廣瀬陽子著. -- 集英社, 2008.7. -- (集英社新書; 0452A).	4F新書	319.297//H72//8588	気鋭の研究者による旧ソ連のコーカサス地域に関する国際政治・経済関係とりわけ石油パイプラインや民族対立についての最新の書物であり、類書はなく、きわめてユニークな書である。
熊倉 正修	入門・国際政治経済の分析：ゲーム理論で解くグローバル世界 / 石黒馨著. -- 勁草書房, 2007.4.	4F開架新体系	319//I73//2729	現実の政策立案や生々しい国際政策交渉の分析に経済学は役に立たないと思われがちだがさにあらず。本書は初歩的なゲーム理論を駆使して通商交渉や国際通貨協力、国際地域紛争などの問題にチャレンジ。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
惣宇利紀男	なぜ日本は「成功」したか? / 森嶋通夫著. -- 岩波書店, 2004.11. -- (森嶋通夫著作集 / 森嶋通夫著 ; 13).	4F開架新体系	330.8//MO64//0881	わが国栄枯盛衰を考える上で一つの試金石となった本です。是非手にとって読んでみてください。同感すること反論したいことなどがいくつも出てくるはず。この本と公共経済学が結びつくようになってくるとしめたものです。
惣宇利紀男	なぜ日本は行き詰ったか / 森嶋通夫著 ; 村田英雄, 森嶋瑤子訳. -- 岩波書店, 2005.4. -- (森嶋通夫著作集 / 森嶋通夫著 ; 14).	4F開架新体系	330.8//MO64//6831	前著で成功の原因を探った著者が、その逆の没落についてもその因果関係を解き明かそうとします。日本経済はその後もめまぐるしく変化します。後は授業で展開する予定です。
海老塚明	コンヴァンション理論の射程 : 政治経済学の復権 / フィリップ・バティフリエ編 ; 海老塚明, 須田文明監訳. -- 昭和堂, 2006.11.	4F開架新体系	331//B27//8399	現在、制度派経済学のミクロ的基礎づけが一つの学問的なトピックスになっている。1989年にフランスで誕生したコンヴァンション理論は、最新の認知科学、ゲーム理論、社会理論等の諸科学を摂取しながら、コンヴァンション = 慣行の特異性に注目することによって、この課題を果たそうとしている。さらに、経済学の領域と政治学の領域を理論的に架橋しようとする。異端派に属する制度派経済学の最先端を知るための最良の入門書である。
中嶋哲也	マクロ経済学 / 岩田規久男著. -- 第2版. -- 新世社. -- (基礎コース . 経済学 ; 2).	4F開架新体系	331//I97//1034	マクロ経済学の入門書として読みやすい本です。
海老塚明	入門社会経済学 : 資本主義を理解する : An introduction to political economy / 宇仁宏幸 [ほか] 著. -- ナカニシヤ出版, 2004.6.	4F開架新体系	331//U75//5524	異端派経済学総合を試みている植村他『社会経済システムの制度分析』の入門書となる一冊。異端派経済学に関心をもつ者は、本書から始め、次に『社会経済システムの制度分析』を読めば、世界の異端派の主要な潮流を理解することができよう。
中村 英樹	Economic growth / David N. Weil. -- Person Addison-Wesley, c2005. -- (Addison-Wesley series in economics).	4F開架新体系	331//W55//6467	経済成長論に関して、データを重視し、いろんなトピックを扱っている。経済成長の要因(教育の効果を含む)、途上国問題、国内の不平等問題など、分かりやすく説明されている。
海老塚明	資本論 / カール・マルクス[著]; 資本論翻訳委員会訳. -- 1(第1巻第1分冊) - 13(第3巻第6分冊). -- 新日本出版社, 1982-1989.	4F開架N	N331.34//M7//7-... (Vol.1他)	古典派経済学の古典であるとともに、異端派経済学の最大の発想の原点。格差や貧困が問題となる現代、改めて資本主義経済とは何であるのかを批判的に考えるための手がかりとなる多くの洞察に充ちた著作。
海老塚明	資本主義のレギュレーション理論 : 政治経済学の革新 / ミシェル・アグリエッタ著 ; 若森章孝 [ほか] 訳. -- 増補新版. -- 大村書店, 2000.3.	4F開架新体系	332.06//A19//9990	1970年代中頃にフランスの官庁エコノミストたちを中心として登場してきた、異端派経済学に属する制度派経済学の一つであるレギュレーション理論の古典的著作。新しい思想が、従来の理論的枠組みをはみ出していく様を追体験できるスリリングな一冊。新たな経済理論が生まれたことを示す、記念碑的労作。
中村 健吾	自由と経済開発 / アマルティア・セン著 ; 石塚雅彦訳. -- 2刷. -- 日本経済新聞社, 2002.4.	4F開架新体系	332.06//SE56//2619	「開発とは、人びとが享受するさまざまな本質的自由を増大させるプロセスである」という、意表をつくような書き出しで始まるセンの名著。人権の根拠を考えるうえで示唆に富んでいるだけでなく、現代の日本が直面している貧困や排除といった問題を分析するうえでも参考になる。
海老塚明	社会経済システムの制度分析 : マルクスとケインズを超えて / 植村博恭, 磯谷明德, 海老塚明著. -- 新版. -- 名古屋大学出版会, 2007.9.	4F開架新体系	332.06//U42//7652	新古典派経済学に対抗する様々な異端派経済学の総合を試みたチャレンジングな一冊。異端派経済学の原点であるマルクスとケインズを出発点としながら、制度論を軸に「総合」が試みられている。学部学生には少々難しいが、異端派経済学の考え方を学び、現代社会を複眼的かつ批判的に考察する際に役立つ。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
惣宇利紀男	日本の経済システム / 寺西重郎著. -- 岩波書店, 2003.1.	4F開架新体系	332.106//TE56//4432	公共経済学は公共部門を経済学的に分析する学問ですが、日本の経済制度を分析する学問でもあります。この本や次の森嶋通夫氏の本を読んで、公共部門のあり方と民間部門のあり方の組み合わせを歴史の流れの中で把握する楽しさを味わってください。
中嶋哲也	暮らしに思いを馳せる経済学：景気と暮らしの両立を考える / 山家悠紀夫著. -- 新日本出版社, 2008.5.	4F開架新体系	332.107//Y49//9769	同じ日本経済を見ても、視点が変れば見え方がかなり変わることがわかるでしょう。
田畑理一	石油・ガスとロシア経済 / 田畑伸一郎編著. -- 北海道大学出版会, 2008.6. -- (スラブ・ユーラシア叢書 ; 3).	4F開架新体系	332.38//TA11//6458	私の研究仲間たちによる、石油・天然ガスの価格高騰によってブームに沸くロシア経済の現状を詳細かつ多面的に分析したもので、ロシア経済に関するもっとも詳細かつ最新の経済文献です。
田畑理一	経済グローバリゼーション下のロシア / 上垣彰著. -- 日本評論社, 2005.12.	4F開架新体系	332.38//U34//5584	ロシア経済の国際経済的側面を詳細に分析したものであり、著者のここ数年間の研究の集大成であり、ロシア国際経済の群を抜く(秀抜な)研究であり、ロシア国際経済面を本書一冊で知ることができる。
長尾謙吉	経済・社会の地理学：グローバルに、ローカルに、考えそして行動しよう / 水岡不二雄編. -- 有斐閣, 2002.12. -- (有斐閣アルマ ; Specialized).	4F開架新体系	332.9//MI96//6924	経済学部の実用科目「経済地理学」のテキストとして使用。グローバル化は「地理の終焉」を導くのか？答えは否。「グローバルに考え、ローカルに行動する」という著名なフレーズにも疑問を投げかけている。
長尾謙吉	都市経済論 / 杉浦章介著. -- 岩波書店, 2003.2. -- (岩波テキストボックス).	4F開架新体系	332.9//SU48//4736	ヒト・モノ・カネの移動が容易となったグローバルな空間の中には、資本や労働者を引き寄せる粘着性を持った都市が点在している。都市をめぐる経済活動を理解する入門書として読みやすい。
長尾謙吉	グローバル・シフト：変容する世界経済地図 / P.ディッケン著；今尾雅博，鹿嶋洋，富樫幸一訳. -- 上，下. -- 古今書院, 2001.	4F開架新体系	333.6//D72//5563(上) 333.6//D72//6208(下)	グローバル化が進むもとの、変動する世界地図の状況とそれをとらえるための研究視角について理解しやすい図書。原著は英語圏の大学をはじめ多くの高等教育機関でテキストや参考書として採用されている。
田畑理一	グローバリゼーションと体制移行の経済学 / 池本修一，岩崎一郎，杉浦史和編著. -- 文真堂, 2008.4.	4F開架新体系	333.6//I33//1923	本書は、ロシア・中東欧諸国の体制転換の過程および現状を分析・記述したものであり、ロシア・中東欧諸国の主要国の経済をほとんど網羅した、最新の経済分析書です。私の論文(第12章)も入っており、私の共著となります。
熊倉正修	闘う経済学：未来をつくる「公共政策論」入門 / 竹中平蔵著 -- 集英社インターナショナル.	4F開架新体系	333//TA64//9575	小泉政権下で経済政策の舵取り役を務めた著者による経済政策論入門。「経済学は政策立案にきわめて重要」、しかし「経済学と現実の間には埋めなければならない隙間がある」という著者の信念を汲み取ってほしい。
熊倉正修	為替と株で考える経済学 / 三土修平著 -- 日本評論社, 2007.9.	4F開架新体系	338.952//M163//9770	日々のニュースをにぎわす為替レートと株価に注目して現代の経済のメカニズムを説き起こす新しい発想の教科書。通常の経済学ではおざなりにされがちな株式会社のしくみも理解できる。
惣宇利紀男	ゼミナール公共経済学入門 / 井堀利宏著. -- 日本経済新聞社, 2005.6.	4F開架新体系	341//I25//9130	おなじみの日経シリーズの本です。これも全貌を知る上で大変便利です。
惣宇利紀男	公共部門の経済学：政府の失敗 / 惣宇利紀男著. -- 阿吽社, 2003.11. 『公共部門の経済学』惣宇利紀男著、阿吽社、2008年(増刷)と同じ??	4F開架新体系	341//SO83//3298	後期10月から開講される「公共経済学」の準テキストです。公共経済学という名のつく本だけでも15冊ほどあります。代表的なものを挙げておきます。最初は数式が気になりますが、その背後にある経済認識が見えてくると気にならなくなるはずで、是非トライしてください。授業は言葉でもきっちり説明します。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
惣宇利紀男	公共経済学 / J. E. スティグリッツ著 ; 藪下史郎訳. -- マグロウヒル出版, 1989.9-1989.10.	7F	341//ST6//2861	外国のテキストの典型です。分量が多いのも洋書の特徴の一つでしょう。公共経済学の全貌を知るのに役立ちます。
惣宇利紀男	公共経済学 / 田中廣滋 [ほか] 著. -- 東洋経済新報社, 1998.6. -- (エッセンシャル経済学シリーズ).	4F開架新体系	341//TA84//4960	多くの先生が分担して書かれた典型的なテキストです。多くの図解は理解を助けてくれます。
中村 健吾	承認をめぐる闘争：社会的コンフリクトの道徳的文法 / アクセル・ホネット [著] ; 山本啓, 直江清隆訳. -- 法政大学出版局, 2003.9. -- (叢書・ユニベルシタス ; 770).	4F開架新体系	361.1//H85//3673	ドイツ観念論の哲学者G.W.F.ヘーゲルの、とくに初期の思想の中に潜んでいた「社会的承認」の論理を抉り出して再構成し、現代の社会理論への応用を試みた意欲的な作品。ヘーゲルらの承認理論を理解するには、加藤尚武『ヘーゲルの「法」哲学』(青土社、1999年)や高田純『承認と自由』(未来社、1994年)も併せて参考にするるとよい。
中村 健吾	シティズンシップと社会的階級：近現代を総括するマニフェスト / T.H. マーシャル, トム・ボットモア著 ; 岩崎信彦, 中村健吾訳. -- 法律文化社, 1993.10.	4F開架新体系	361.8//MA52//1334	通常は「市民権」と訳されることの多いシティズンシップが近代イギリスにおいて形成されてきた過程を総括的に叙述した、T.H. マーシャルの古典的論文が収録されている。市民の権利と義務について考える場合、たとえ批判され克服されるべき限界をもったものであるにせよ、まずは参照されなければならないテキストである。
中嶋哲也	格差社会：何が問題なのか / 橋本俊詔著. -- 岩波書店, 2006.9. -- (岩波新書 ; 新赤版 1033).	4F新書版	361.8//TA13//4290	現代日本社会を考える上で、ヒントを与えてくれるでしょう。
福原宏幸	社会的排除/包摂と社会政策 / 福原宏幸編著. -- 法律文化社, 2007.12. -- (シリーズ・新しい社会政策の課題と挑戦 ; 第1巻).	4F開架新体系	364.1//SE83//0250	現代社会が投げかける社会問題への社会政策の新しいアプローチを提起するシリーズ「新しい社会政策の課題と挑戦」の第1巻、現代の社会問題を社会的排除の視点からとらえる。
福原宏幸	ワークフェア：排除から包摂へ? / 埋橋孝文編著. -- 法律文化社, 2007.11. -- (シリーズ・新しい社会政策の課題と挑戦 ; 第2巻).	4F開架新体系	364.1//SE83//8924	現代社会が投げかける社会問題への社会政策の新しいアプローチを提起するシリーズ「新しい社会政策の課題と挑戦」の第2巻、「福祉から就労へ」の政策を問う。
玉井金五	社会政策を学ぶ人のために / 玉井金五, 大森真紀編. -- 3訂. -- 世界思想社, 2007.9.	4F開架新体系	364.1//TA77//6649	社会政策のテキストとして、おそらく日本で最大の発行部数を誇っている。従来の雇用・労働に加えて、社会保障、家族・生活といった分野をほぼ均等に配置し、新しい社会政策の動向を基礎からトータルに学べるようにしたことが、大きな好評を博している。叙述は平易であるが中身は結構ハイレベルとなっており、入門書ながら読み応えがある。
玉井金五	少子高齢化と社会政策 / 玉井金五, 久本憲夫編. -- 法律文化社, 2008.7. -- (社会政策 ; 2).	4F開架新体系	364//TA77//6254	主に、大学院に学ぶ学生を対象にしたレベルの高い社会政策の最新のテキストである。では雇用・労働の全分野が、では社会保障のあらゆる領域が網羅されている。両書で600ページという分量は、これまで日本で刊行されている社会政策のテキストとしては最大級のスケールである。最先端の知識を、本書から思う存分吸収してほしい。
玉井金五	ワーク・ライフ・バランスと社会政策 / 久本憲夫, 玉井金五編. -- 法律文化社, 2008.9. -- (社会政策 ; 1).	4F開架新体系	366.7//H76//0406	主に、大学院に学ぶ学生を対象にしたレベルの高い社会政策の最新のテキストである。では雇用・労働の全分野が、では社会保障のあらゆる領域が網羅されている。両書で600ページという分量は、これまで日本で刊行されている社会政策のテキストとしては最大級のスケールである。最先端の知識を、本書から思う存分吸収してほしい。
福原宏幸	グローバル化と社会的排除：貧困と社会問題への新しいアプローチ / アジット・S・バラ, フレデリック・ラペール共著 ; 福原宏幸, 中村健吾監訳. -- 昭和堂, 2005.4.	4F開架新体系	368.2//B39//7294	グローバル化がもたらす現代の経済・社会問題を「社会的排除」としてとらえ、世界レベルで生じているこの問題の全体像をわかりやすく論じている。

推薦教員	著者・書名・出版年・出版社等	配置場所	請求記号	推薦文
玉井金五	大正・大阪・スラム：もうひとつの日本近代史 / 杉原薫, 玉井金五編. -- 増補版. -- 新評論, 1996.9.	4F開架新体系	368.2//SU34//1903	本書の初版が刊行されたのは、今から20年以上まえの1986年のことであった。すでにかかなりの年数が経過するが、戦前大阪に関する古典的文献として現在でも読み継がれているロングセラーである。格差、貧困問題の日本の原点を知るうえでも、格好の文献である。(絶え間ない需要に応じるために、今年からオンデマンド版に切り替えられた。)
瀬戸口明久	トランス・サイエンスの時代：科学技術と社会をつなぐ / 小林傳司著. -- NTT出版, 2007.6. -- (NTT出版ライブラリーレゾナント; 035).	3F開架新体系	404//KO12//4804	「科学」は一つの答えしかない。だから理系はカタブツだ。そう思いませんか？実際の科学技術の現場では、一つの答えを出せないことがよくあります。たとえば「原子力発電を利用すべきかどうか」「遺伝子組み換え作物を導入すべきか」こういった問題については、科学者のあいだでも一つの結論があるわけはありません。そのような問題群を著者は「トランス・サイエンス」といいます。最近の科学技術社会論の動向をコンパクトにまとめた本です。より詳しくは同じ著者がかかわった『科学技術と公共性』などを参照してください。
瀬戸口明久	日本の科学/技術はどこへいくのか / 中島秀人著. -- 岩波書店, 2006.1. -- (フォーラム共通知をひらく).	3F開架新体系	404//N34//5938	著者は17世紀の科学者ロバート・フックの研究者ですが、科学史・科学論の専門家として、現代の科学技術についても積極的に発言してきました。この本は、2000年代に著者が発表したブック・ガイドをまとめたものです。社会のなかの科学技術のあり方や、科学史・技術史に関心があれば、最初のガイドとして利用できるでしょう。
瀬戸口明久	バイオポリティクス：人体を管理するとはどういうことか / 米本昌平著. -- 中央公論新社, 2006.6. -- (中公新書; 1852).	4F新書版	461//Y83//2195	この十年ほどで、ゲノム医療や再生医療など、バイオテクノロジーを応用した先端医療が試みられるようになりました。1970年代から生命倫理政策に積極的に提言してきた著者が、各国のバイオ政策を比較し、日本の状況を批判しています。『遺伝管理社会』など、著者のほかの著作も重要です。
瀬戸口明久	科学技術の国際競争力：アメリカと日本相剋の半世紀 / 中山茂著. -- 朝日新聞社, 2006.2. -- (朝日選書; 793).	3F開架新体系	502.1//N45//6508	戦後アメリカは科学大国となりました。それに対して日本は「基礎科学が弱い」とよくいわれます。最近ではノーベル賞受賞者も出ていますが、アメリカの科学力には及びません。著者は、そのような日米間の科学技術の違いが生じた歴史的な経緯を、説明していきます。著者は1960年代から日本や欧米の科学技術史について多数の著書を出しています。
瀬戸口明久	自然保護を問いなおす：環境倫理とネットワーク / 鬼頭秀一著. -- 筑摩書房, 1996.5. -- (ちくま新書; 068).	4F新書版	519.8//KI77//1217	誰もが「自然を守らなければならない」と思っています。でも「どのような自然を、なぜ守らなければならないのか」という点をめぐっては、じつはさまざまな意見の対立があります。そのような自然保護のあり方を考えるのが「環境倫理学」という分野です。著者は欧米の「環境倫理学」を紹介しつつ、環境社会学や人類学などの成果を踏まえ、アメリカの自然保護とは違ったあり方を提案しています。
福原宏幸	武川正吾編著『シティズンシップとベアシックインカムの可能性』(新しい社会政策の課題と挑戦 第3巻)、2008年、法律文化社			現代社会が投げかける社会問題への社会政策の新しいアプローチを提起するシリーズ『新しい社会政策の課題と挑戦』の第3巻、所得補償政策の新たなアプローチが欧米ではすでにまわっている。